

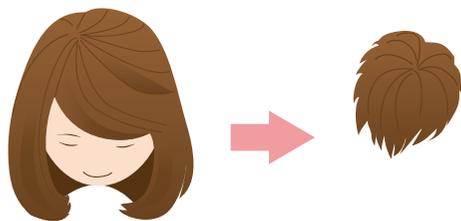
治療後の 発毛について

いつごろからどのように髪が生えてくるのでしょうか

通常、抗がん剤終了後から数ヶ月で発毛が始まります。個人差がありますが、ウィッグを取るまでの平均期間は1年程度です。中には2年以上装着している人もいます。生え始めは一時的に髪質が変化する方がほとんどです。治療後は数年経っても元のように回復しないこともあります。髪のボリュームを出すためにシャンプーや乾かし方を工夫したり帽子やつけ毛、部分的なウィッグを使われる方もいます。

発毛時によく聞かれること

- 太さが細くなった
- くせ毛になった
- 全体的に量が減った
- コシがなくなった
- 頭頂部が生えにくい
- 白髪が増えた



メーカーによってはフルウィッグを部分ウィッグに作り替えることができます。(要料金)

抗がん剤治療後の毛染めの時期について、推奨されている時期ははっきりとしていません。治療後は地肌がデリケートになっていることもありますので、地肌と髪にやさしい染料を用いて、パッチテストなどで反応を確認して行うことをお勧めします。

記事担当:賀出

ウィッグの種類・素材

種類	良いところ	気になるところ
既製品	すでにカット済みの商品。決まった色合い、大きさ、髪型。お求めやすい価格。	スタイルの変更が難しい。いくつかのスタイルを揃えているが、毛量や長さ、サイズ調節が難しいことも。
セミオーダー	長い髪の状態のものをカットして納品するタイプ。パーマ・毛染め可能な商品あり。いくつかの大きさを用意。	自分に合うサイズがあるかどうか
フルオーダー	頭の形状を型取りしてから作成。毛質、スタイル、カラーなど要望に合った製品が可能。	価格は高め。納期が1ヵ月半～2ヵ月程度。

素材	良いところ	気になるところ
人毛	見た目・手触り・光沢が一番自然。毛染めやパーマ可能。ドライヤーOK。	価格が高め。色があせることがある(毛染めで対応可能)。
混合毛	人工毛を主体に使いながら、人毛の自然さを取り入れている。	スタイルの変更は難しい。人工毛部分は静電気で毛先の縮れが発生。
人工毛	合成繊維で作られ、値段が安い。スタイルは崩れにくい。毛染めができないので、いくつかの髪色を用意している。	人毛と比較して自然さが劣る。ブラッシング、服や乾燥などによる静電気で毛先が縮れ、耐久性では他の素材に劣る。専用のシャンプー剤が必要。

※医療用かつらは基本的には、全かつらとなります。

記事担当:ナチュラル